主花正道集 全

ヲ多9
982

立花宗道集

平田宗道

門 ヲ類
弾 982
巻

立華正道集

總論

早稲田大学図書

昭和三年四月一日購入

[illegible]

一草木の際まで指事

一大きなる花の際まで指事

一草木の枝葉を包事

一長くなる分枝葉の水をつかまつる事

一十文字なる枝の中

一細指なる枝の中

一枝葉入いるる事

一枝なる枝なる事

一切なる際に枝葉事

一枝の中

[illegible]

ハ　真之義也

心ちの三ツ[illegible]の松[illegible]

[illegible]竹又は柳の橋[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二　松竹梅の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ホ　合心の事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

竹の心

竹の心の事

竹の心の事

竹の心の事

藤之宮の事

一松しまのもとにかれたるまつ
けさ[illegible]ちるあるとき
[illegible]
[illegible]
[illegible]

射之能心忘心忘劔受流事

一忘心除心と忘心忘劔受流事
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

もゝ[illegible]方射の能[illegible]
[illegible]中央の屬[illegible]
[illegible]

とうたるの能の事

一鹿橋の本のもとにかのとうたるの能
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一佛不二宜長能の事

[illegible]心の長能能の事
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ヨ

菓子の一種なり中にさう餅

或流布のとゆひはるこ

ゆきはかりに花とものこ

心を大つもとこと小豆

ぐとかつうゑ面白用

胴ゆ

はけ

菓子の一種なり白小豆

ゆきとこ

余りかとりとかのとの

タ

松の一色の中

心を同

色の松しつ

ゆきの

ゆ

と文えとうとうとかり

ゆ松ゆんの色

ゆきはりの松ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

心劉受まれたる桜の一色といえり多
く用ゐる桜すなわち桜そのものの
ものなるべしとは桐葉のかりよ葉を
ゑとしてかすかに桐葉のかりよ葉を
さしてのものなるべしとは
つの事なり桜の一色
ものなるべしとは桐葉
食ものなるべしとは
紅葉の一色
心劉受よりつまれたる一色といえり

ふ

ふ

ふ

[illegible]

ウ

[illegible]

ム

[illegible]

ウ

元亨

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ク

大葉のもの

枇杷葉　枇杷葉　[illegible]

[illegible]

[illegible]

ヤ

桐花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一花紅葉なる花紅葉
ちらす橋の木をうゑまする事
とまり一ツ橋小ツ橋
フ
一花紅葉小春と書て月の
詠ものなり
桂の花けの紅葉
ユ
一早ぐり月の花紅葉
月の
一紅葉の花紅葉
月の
紅葉の花紅葉
月の
紅葉の花紅葉
月の

心の一の枝なる時は一の
実のなりひしくなり枝を一種とす
あひする花を花なりとなり
事

サ

内朝の事
一心の一の枝なる時は一心を二心の
なりなり心の朝くなり花を内朝となり
中のとなり

キ

水仙
菊花
たちばな
橘樹

仙花
花菖蒲
菊花
檜扇
たちばな
花

第歳

まつ
すぎ
杉
雜以花
ゆのみ
枝葉樹
ふしの
筆

まつ
けし
あかり
ちくさ
桃花
さくら花

ふじ
かるかや
ひめ花
ひとり
ひとり
紫
さくら花

ひとり
庭樹
花
竹

ひのき

なかの部
心なる流のよ
ふ際
草木の中
せんまつ
かんひ

二

ぼたん花
夏草

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雜木

[illegible]

竹

[illegible]

[illegible]

[illegible]

上

芦

雁

桔梗

つゆくさ

すすき

けし

かほ

菊

撫子

藤袴

女郎花

ちとせ

山路

秋

槍

ちとせ

ひのき

ひのき

ちとせ

ひのき

ちとせ

ひのき

ちとせ

[illegible]

[illegible]

セ

草木[illegible]

一竹よ　一柳　一蘭　竹　柳
一芳よ　一蘭よ　一蘭　竹
一柳よ　一蘭　一蘭　柳
一蘭よ　一蘭　一蘭　竹
一柳よ　一蘭　一蘭　柳
一白梅よ　いの二柳　柳
一杜丹よ　芳　芳

[illegible]

[illegible]

ス

[illegible]

[illegible]

右図之通り[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一梅の葉に毒蟲[illegible]を切るに作屏[illegible]或
[illegible]葉[illegible]を[illegible]
[illegible]桐刀を用ひ[illegible]
[illegible]
[illegible]梅の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一薬屋指図其外何とぞ[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

右四ケ條

書坊　梅村弥右衛門
　　梅村弥右衛門

[illegible]

寛延三庚午歟

第十五部之

書林

梅村弥右衛門